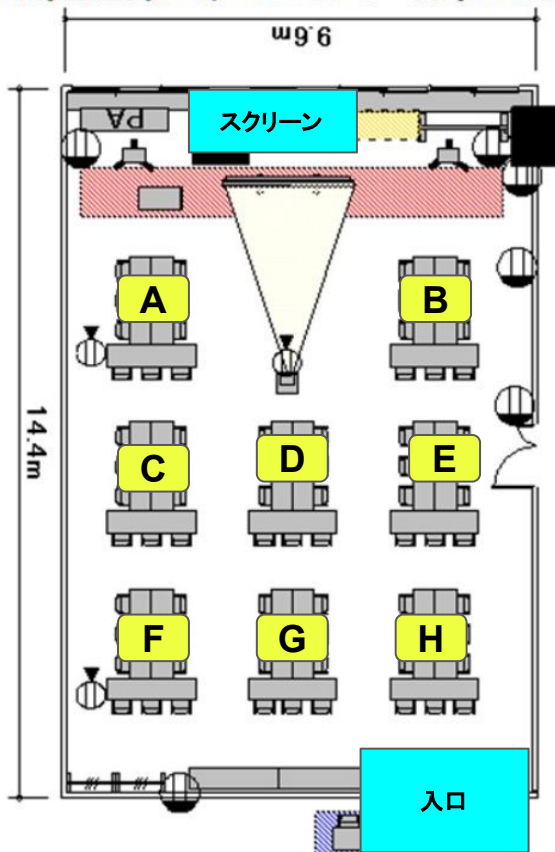


各テーブル内の配置



【お手洗いと自販機】

- お手洗いは会場出てすぐ右手に男性トイレ、通路奥に女性トイレがあります。
- 自動販売機は会場出て通路奥（女性トイレ前）にあります。

グループごとにご着席下さい。  
～14:00スタート～

## 本資料のご利用にあたって

本資料は、2026年5月28日開催のワークショップにご参加いただいた皆様、およびその所属企業内での情報共有を目的としております。

皆様へのお願い

1. 営利目的でのご利用はお控えください。本資料の一部または全部を、商用利用、再配布、販売などに利用することはご遠慮ください。
2. 第三者への無断での配布はご遠慮ください。本資料は参加者の皆様およびその所属企業内での学習・情報共有にご活用ください。上記以外の方への転送や公開はご遠慮ください。

何卒ご理解ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

2026.05.28

# 第2回かながわSDGs パートナーミーティング

～本年度のSDGsアクションを考えるワークショップ～



主催：神奈川県政策局

いのち・未来戦略本部室 SDGs推進グループ

運営：株式会社eiicon



eiicon

丸川 雄一

YUICHI MARUKAWA

株式会社eiicon

地域イノベーション推進部

Account Executive / Consultant Group Leader

## 今年度のプログラム概要<事業目的>

### 事業目的

本事業では、かながわSDGsパートナー登録企業による、SDGsに資する取組のより一層の展開を支援するとともに、パートナー間の交流を促進し、継続的な連携を生み出すことで、パートナー制度の価値向上と、県内SDGsのさらなる拡大を図る。

### 注力ポイント

自社の課題解決に留まらない、社外（クライアント、業界など）への波及・展開までを見据えた活動を、県内企業が自発的に取り組むことを最終的なゴールに見据え、支援を実施。今年度事業については『ロールモデルとなる事業創出』と『県内企業に向けたSDGsの取り組みに関する機運醸成』を目指すことでパートナー制度の価値向上に繋げていく。

## 今年度のプログラム概要<支援内容>

SDG s 活動を進めるために  
『かながわSDG s パートナーミーティング』を通じた  
パートナー間の連携をサポートします。

パートナー企業に求める  
テーマの設計支援



SDG s における自社の取り組む目的・ゴールの整理から、挑戦したい事業テーマ（事業開発や課題解決等）を共に整理・可視化。

パートナー企業の  
マッチング支援



挑戦したい事業テーマに対して、  
必要な技術・ノウハウなどを持った企業と  
マッチングを実施。

マッチング後の  
伴走・フォロー支援



2社の連携が持続的に進むように  
連携モデルのブラッシュアップを  
通じた伴走・フォロー支援を実施。

## 本日のスケジュール



1. オープニング | 神奈川県からのご挨拶
2. SDGs ワークショップ
3. 各種今後のご案内
4. 名刺交換会・個別相談（事前申し込みの方が対象）

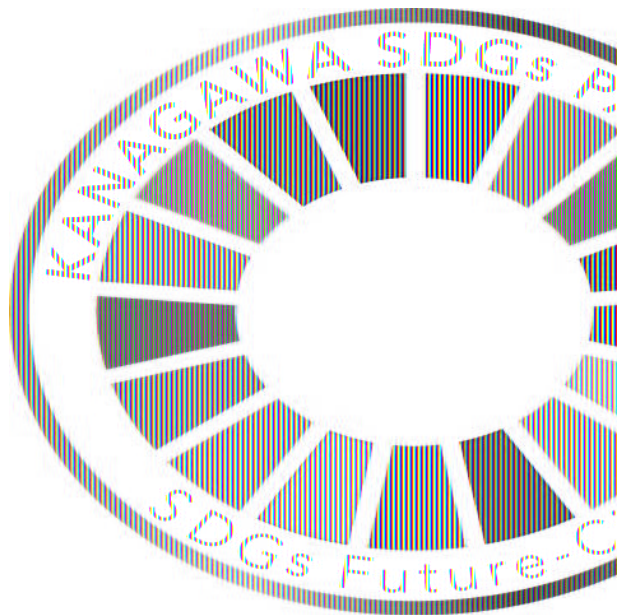
# 本日のスケジュール



1. オープニング | 神奈川県からのご挨拶
2. SDGs ワークショップ
3. 各種ご案内
4. 名刺交換会・個別相談（事前申し込みの方が対象）

神奈川県庁からのご挨拶

投影のみ



# 大垣 光生 様

神奈川県 政策局

いのち・未来戦略本部室

SDGs推進グループ 主事

# 本日のスケジュール



1. オープニング | 神奈川県からのご挨拶
2. **SDGs ワークショップ**
3. 各種今後のご案内
4. 名刺交換会・個別相談（事前申し込みの方が対象）

突然ですが . . .

今日お越しの皆さんは、  
何のためにSDGs活動をしていますか？

# \ 本日のコンセプト /

パートナー会員同士の対話や他社事例から  
SDGs活動のヒントを得る!

- ✓ 自社・団体の活動振り返り
- ✓ 目標と現状のギャップ整理
- ✓ 対話や事例からヒントを得る

自社・団体状況にそった、今後の取り組みの言語化をサポート

# ワークショップの進め方



01

全体の進め方の説明・グループごとの自己紹介

02

SDGs活動の振り返り

03

壁を乗り越えよう！ 他社事例&グループディスカッション

04

ワークショップ振り返り・アクションの整理ポイント

# ワークショップの進め方



01

全体の進め方の説明・グループごとの自己紹介

02

SDGs活動の振り返り

03

壁を乗り越えよう！ 他社事例&グループディスカッション

04

ワークショップ振り返り・アクションの整理ポイント



# ワークショップの進め方

## 【本日の目的】

1. 2025年度の取り組み・成果・課題の振り返りとその言語化・可視化
2. 会員同士の対話を通じた、自社課題の解決に向けたアイデアや、他者との連携可能性の拡張
3. 自社・団体状況にそった、今後の取り組みの言語化をサポート

## 【ワークショップの進め方】

1. 講義→個人ワーク→グループワークの順で進めていきます。
2. 各テーブルに事務局担当がおりますので、気軽に相談してください。
3. 終了後にワークシートはお持ち帰り頂きますが、記録までにワークシートの写真を撮らせて頂きます。

## 【ワークショップを進めるにあたり】

1. 正解はありません：自社らしい答えを考えていく場です。
2. 傾聴と対話を大切に：他社の視点や言葉に耳を傾けてください。
3. 発言は自由に：発言・共有を歓迎します。
4. リスペクトの気持ちを：違いを楽しむ姿勢で臨みましょう。

アイスブレイク  自己紹介をしましょう！



6分程度  
おひとり1分程度

## ①所属団体・部署・役割

例：経営企画部、サステナビリティ推進室、現場リーダー など

## ②自社・団体のSDGs活動内容

例：社内への啓発、地域貢献イベントの企画、サステナブル商材の選定、SDGs活動を起点とした社会課題解決事業の創出 など

# ワークショップの進め方



01

全体の進め方の説明・グループごとの自己紹介

02

**SDGs活動の振り返り**

03

壁を乗り越えよう！ 他社事例&グループディスカッション

04

ワークショップ振り返り・アクションの整理ポイント

突然ですが . . .

今日お越しの皆さんは、  
何のためにSDGs活動をしていますか？

突然ですが . . .

今日お越しの皆さんは、  
何のためにSDGs活動をしていますか？

# SDGsの活動を2つの視点で考える



## 自社課題の解決

働き方改革、人材育成、DE&I、健康経営、社内浸透など、  
自社の基盤を強化する視点

▶ 持続性向上



## 社会課題の解決

地域課題、環境問題、高齢化、防災、教育など、  
社会全体へのポジティブな影響  
を及ぼす視点

▶ 収益性向上

# SDGsの活動を2つの視点で考える



## 自社課題の解決

働き方改革、人材育成、DE&I、健康経営、社内浸透など、  
自社の基盤を強化する視点



## 社会課題の解決

地域課題、環境問題、高齢化、防災、教育など、  
社会全体へのポジティブな影響  
を及ぼす視点

誰のため・何のためにSDGs活動

こんな事例も

SDGs起点の価値開発事例：富士工業株式会社(所在地：神奈川県相模原市)

投影のみ

-FUJIOH-

ビジネスユーザー向け情報はこちら

オンラインショップ GLOBAL 動画ファイル

製品情報 カタログ FUJIOHについて サステナビリティ 会社情報 採用情報 お問い合わせ



暮らしの空気環境に対して、  
私たちには責任があります。

## キッチンの空気環境の第一人者

事業概要：一般家庭用/業務用厨房機器の企画・開発設計・生産・販売・アフターサービス





## 社会課題の解決

この課題を解決することが  
世の中のニーズであり、  
その課題を解決することに対して  
自社の強みを活用することができれば  
あらたな事業(収益)につながるだろう



# SDGs起点の価値開発事例：富士工業株式会社(所在地：神奈川県相模原市)

空気が育てる野菜たち。アクアポニックス農園で挑んだ“気流制御”の共創実証

2025年8月18日

三石成徳株式会社



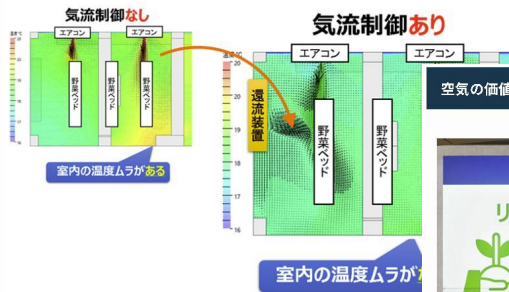
この記事では、循環型農業「アクアポニックス」の普及を担う先FUJIOHにおける「気流制御」に関する課題への共創実証について※本文中では社名は敬称略で記載しています。

エネルギーと収量のアンマッチ。室内農園が抱える見えない課題



閉鎖型施設で行う次世代農業「アクアポニックス」。水耕栽培と養液を組み合わせたこの循環型農法に取り組むのが、株式会社アクアポニックス。環境負荷の少ない持続可能な農業として注目される一方で、アクアポニックスはある課題に直面していました。それは、空調エネルギーの使用量と野菜の収量が比例しないという“アンマッチ”。同じ施設内でもエリアによって育成状況にバラつきがあり、エネルギーをかけても期待通りの成果が得られないという現象が起きていたのです。

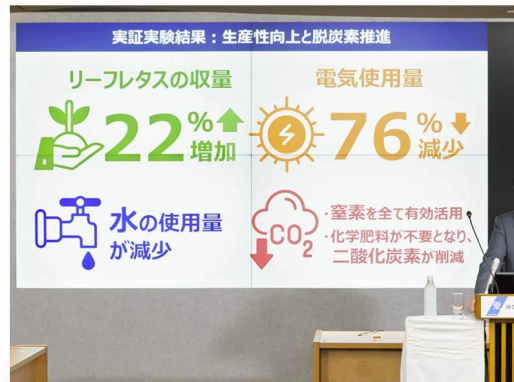
気流を制する者が、室内農園を制す



この仮説をもとに、FUJIOHが提案したのは「気流制御による室内温度の均一化」で流体シミュレーションを活用して施設内の空気の流れを可視化し、エアコンと送風装置とで、温度ムラをなくするというアプローチです。さらに、施設内の多点温度監視データをもとに、エアコンの運転をきめ細かく制御。設定温度を高めに、夏場は低めに調整することで、エネルギー効率の最適化も図れると

農業分野でこのような空気制御技術を導入している企業はまだ少なく、FUJIOHとアクリエスとしてのポジションを築くことになります。

空気の価値が、農業の未来を変える



この取り組みは、単なる技術実証にとどまらずに、神奈川県知事の定例記者発表で紹介されたほか、近畿地方の大規模施設農場からの問い合わせや、複数の自治体・企業からのセミナー登壇依頼が相次ぎました。このような活動から得られている知見は、今後のスマートアグリ分野における重要な布石となることで

## 空気環境をととのえる強みを活用し、農業における食糧自給の課題にチャレンジ



<https://pro.fujioh.com/blog/1066/>

こんな事例も 

SDGs起点の価値開発事例：富士工業株式会社(所在地：神奈川県相模原市)

投影のみ

-FUJIOH-

✓空気環境に関する知見

MACNICA

✓センシングに関する知見

自社の強みを活かすため、  
弱み（課題）をパートナーの力で解決

新たな事業(収益の向上)にチャレンジ中

KANAGAWA

✓実証場所の協力

AQUAPONICS

おさかな畑

✓農業に関する知見

# ワークシート①：自身の活動を言語化しましょう

個人ワーク：15分程度  
シェアタイム：20分程度

## Q1. 誰のため、何のために取り組むのか

SDGs活動の目的を再確認しましょう

(例)

- ・ 自社：働き方改革、人材育成、社内浸透など
- ・ 社会：地域課題、環境問題、教育、事業開発など

## Q2. 昨年度、実際どんな取り組みを行ったか？

昨年度の「目指していた目標・状態（理想）」  
も踏まえて言語化しましょう

(例)

- ・ 自社：有給休暇取得率を前年比+10%向上させる
- ・ 社外：SDGs課題起点の事業起案を年間2件実施する

## Q3. 昨年度の取り組みはどのような結果になったか？

「いつまでに、どうなったか」を下記参考で言語化しましょう

### 実施したこと

検討・実施回数、作成物など

### 達成状況、達成できたこと

目標に対して〇〇%達成できた、〇〇を改善できた

### 課題・ギャップ

うまくいかない、壁にぶつかっている点

**定量**での表現や  
**自社/社外** 両方の視点  
で言語化しましょう！



# ワークシート①：自身の活動を言語化しましょう

## Q1. 誰のため、何のために取り組むのか

SDGs活動の目的を再確認しましょう

- (例)
- ・ 自社：働き方改革、人材育成、社内浸透など
  - ・ 社会：地域課題、環境問題、教育、事業開発など

## Q2. 昨年度、実際どんな取り組みを行ったか？

昨年度の「目指していた目標・状態（理想）」

- も踏まえて言語化しましょう
- (例)
- ・ 自社：有給休暇取得率を前年比+10%向上させる
  - ・ 社会：SDGs課題に関する事業記事を年間2件実施する

個人ワーク | 14:37まで  
シェアタイム | 14:57まで

## Q3. 昨年度の取り組みはどのような結果になったか？

「いつまでに、どうなったか」を下記参考で言語化しましょう

### 実施したこと

検討・実施回数、作成物など

### 達成状況、達成できたこと

目標に対して〇〇%達成できた、〇〇を改善できた

### 課題・ギャップ

うまくいかない、壁にぶつかっている点

活動の現在地や課題が見てきたでしょうか



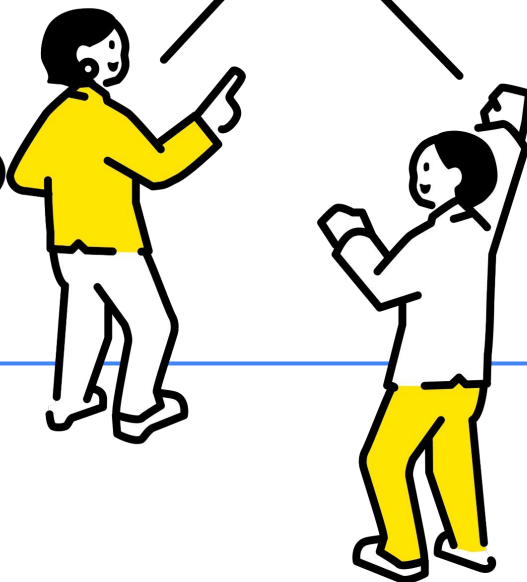
目標

課題

- ✓ヒト
- ✓モノ (技術・サービス)
- ✓お金
- ✓情報



現在地



# ワークショップの進め方



01

全体の進め方の説明・グループごとの自己紹介

02

SDGs活動の振り返り

03

**壁を乗り越えよう！ 他社事例&グループディスカッション**

04

ワークショップ振り返り・アクションの整理ポイント

SDGsにおいて”**他社と連携**”する意義とは

## SDGs活動を推進する上で、他者と連携する意義とは

1

サプライチェーンの「どこかで繋がっている」だから助け合う

2

お互いの強み・持っている資源を持ち寄りあえば、  
一人ではできないことにも挑戦できる

3

誰かと関わることで、自分たちの強み・気づいていない価値に  
気づくことができる。（他者と交わり自己を理解する）

# かながわSDGsパートナーの取り組み事例のご紹介

## みんなのSDGs 連携賞 ②

特定非営利活動法人  
フェアスタートサポート × 有限会社グリーンフーズあつみ

### 1 タイトル

児童養護施設の子ども達へキャリア教育の機会を提供

### 2 取組の概要

- 児童養護施設で生活をしている高校生2名に質の高いキャリア教育の機会を提供した。
- 児童養護施設の子ども達にキャリア教育の機会を提供できるフェアスタートサポートと、子ども達の職場見学受入れ等を積極的に担っているグリーンフーズあつみの連携により実現。

### 3 取組を始めた動機・課題

- 児童養護施設出身者達は、施設で生活をしている頃にキャリア教育の機会が不足していることなどが理由で、質の低い就職活動に陥りやすく、結果的にミスマッチによる早期離職が多発。
- 離職を機にワーキングプアとなりやすく、貴重な若者達に貧困の連鎖が起きている。

### 4 解決に向けた具体策・成果

- 小中高生の頃に様々な職業に触れることで視野が広がり、はたらくイメージも具体化し、進路選択の質が高まる。



### 5 取組による定量的な効果

- キャリア教育に恵まれた子ども達は早期離職率が低下する。当団体の実績:就職後1年内離職率19% (業界平均値43%)

### 6 取組のポイント

- 連携を通じて、どのような社会課題を解決し、地域や次世代に貢献したいのかを双方合意しておくことが大切。



定量的  
な効果

社外  
との連携

誰のため  
何のため

# かながわSDGsパートナーの取り組み事例のご紹介

みんなのSDGs  
連携賞 ②

特定非営利活動法人  
フェアスタートサポート × 有限会社グリーンフーズあつみ

1 タイトル

児童養護施設の子ども達へキャリア教育の機会を提供

## 2 サプライチェーンの「どこかで繋がっている」だから助け合う

● 児童養護施設で生活をしている高校生2名に質の高いキャリア教育の機会を提供した。

● 児童養護施設で生活をしている高校生2名に質の高いキャリア教育の機会を提供した。

**一見関係がない企業・団体でも、  
地域や働く人を通じてつながっている。  
だからこそ、  
社会課題を“自分ごと”として考える視点が重要。**

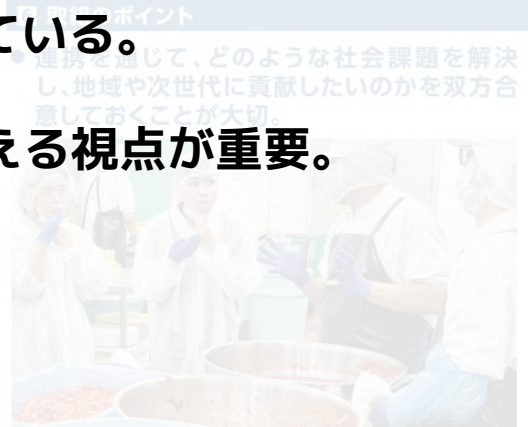
● キャリア教育に恵まれた子ども達は早期離職率が低下する。当団体の実績:就職後1年内離職率19% (業界平均値43%)

3 取組

● 児童養護施設で生活をしている頃にキャリア教育に結びつき、結果的にミスマッチによる早期離職が多発。  
● 離職を機にワーキングプアとなりやすく、貴重な若者達に貧困の連鎖が起きている。

4 解決に向けた具体策・成果

● 小中高生の頃に様々な職業に触れることで視野が広がり、はたらくイメージも具体化し、進路選択の質が高まる。



1

# かながわSDGsパートナーの取り組み事例のご紹介

2

みんなのSDGs 連携賞 ② 特定非営利活動法人 フェアスタートサポート × 有限会社グリーンフーズあつみ

1 タイトル  
児童養護施設の子ども達へキャリア教育の機会を提供

2 **お互いの強み・持っている資源を持ち寄りあえば、一人ではできないことにも挑戦できる**

- 児童養護施設で生活する子ども達はキャリア教育に恵まれた子ども達は早期離職率が高くなる傾向がある。当団体の実績:就職後1年内離職率19% (業界平均値43%)
- 児童養護施設の子ども達にキャリア教育の機会を提供できるフェアスタートサポートと、子ども達の職場見学受入れ等を積極的に行っているグリーンフーズあつみの連携により実現。


3 取組のポイント

それぞれの  
**✓ヒト ✓モノ ✓カネ ✓情報**  
を掛け合わせることで、  
**一社だけではできない取り組みにつながる。**

- 連携を通じて、どのような社会課題を解決し、地域や次世代に貢献したいのかを双方合意しておくことが大切。

4 解決に向けた具体策・成果

- 小中高生の頃に様々な職業に触れることで視野が広がり、はたらくイメージも具体化し、進路選択の質が高まる。



# かながわSDGsパートナーの取り組み事例のご紹介

3

みんなのSDGs 連携賞 ② 特定非営利活動法人 フェアスタートサポート × 有限会社グリーンフーズあつみ

1 タイトル  
児童養護施設の子ども達へキャリア教育の機会を提供


2 誰かと関わることで、自分たちの強み・気づいていない価値に気づくことができる。(他者と交わり自己を理解する)

3 他者との対話や連携を通じて、  
✓自社の強み ✓持っている資源 ✓新たな可能性  
を再発見できる。  
SDGsは、社会課題だけでなく、  
“自社の価値を見つめ直すきっかけ”にもなる。

4 解決に  
● 小中高生の頃に様々な職業に触れることで視野が広がり、はたらくイメージも具体化し、進路選択の質が高まる。

5 取組のポイント  
● 連携を通じて、どのような社会課題を解決し、どのような社会課題を双方合意しておくことが大切。

6 取組の成果  
● 児童養護施設の子ども達にキャリア教育の機会を提供できるフェアスタートサポートと、子ども達の職場見学受入れ等を積極的に行っている。2名に1名に早期離職率19% (業界平均値43%)



# かながわ みんなのSDGs

SDGs推進のヒントとなる取組を、「かながわSDGsパートナー」から募集・見える化する制度  
令和6年度より、パートナー同士の連携取組を表彰する「みんなのSDGs連携賞」を新設

かながわ  
みんなのSDGs



## 表彰事例の決定

令和8年1月29日に令和7年度かながわ みんなのSDGsの表彰事例を決定し、公表しました。

### 令和7年度かながわ みんなのSDGs 表彰事例

賞名	取組名	企業・団体名
みんなのSDGs員	<a href="#">「だれもが楽しめる社会へ」 一病氣や障がいのある子どもたち に体験の輪を広げる」</a> (PDF: 678KB)	特定非営利活動法人AYA
	<a href="#">「作る技術から、治す技術へ」</a> (PDF: 547KB)	有限会社津田製作所
神奈川県中小企業診断協会員	<a href="#">食品配送から始めるSDGs</a> (PDF: 482KB)	東京中央食品株式会社
	<a href="#">相模原発・循環型福祉ビジネスプロジェクト」 一環境と福祉と地域がつながるオ ガチャッカ</a> (PDF: 584KB)	株式会社ネットフィールド
みんなのSDGs連携賞	<a href="#">必要な衣料品回収イベント</a> (PDF: 574KB)	・株式会社BPLab ・一般社団法人F・マリノススポーツクラブ
	<a href="#">児童養護施設の子ども達へキャリア教育の機会を提供</a> (PDF: 631KB)	・NPO法人フェアスタートサポート ・有限会社グリーンフーズあつみ

# 昨年度の本プログラム活用による SDGs取り組み事例のご紹介

ホスト企業

パートナー企業

取組テーマ

昨年度の成果

1



株式会社フリーデン

×



GrowBirth

合同会社グローバース

地場素材 × ブランド豚で挑む、  
サステナブルな商品開発の挑戦

やまと豚の  
商品力・販路

規格外野菜の  
集荷・乾燥技術

地元産の規格外産野菜を使用した  
レトルトカレーの開発を実施  
商品の企画設計、試作品の検討、  
ゆめが丘ソラトスでの試食会開催

2



和光産業株式会社  
WAKO SANGYO Co.,Ltd

×



CN&Arts

株式会社シーエヌアーツ

「光触媒を活用した新しい  
清掃業務の実現」プロジェクト

環境負荷の低い  
高品質な清掃

光触媒による  
コーティング

神奈川県内の高校や病院等の  
施設において、清掃の一環として  
光触媒のコーティングを実施。  
清掃による除菌効果を実証測定。

3



舞岡フォーム株式会社

×



株式会社リサイクルテ  
クノロジーズ

学校を拠点としたリサイクル資源  
回収～製品化プロジェクト

素材アップ  
サイクルの技術

リサイクルDX  
プラットフォーム

神奈川県内の学校等で 不要になった  
衣類を用いた姿勢強制クッションの  
アップサイクル製品の開発。

壁を乗り越えよう！



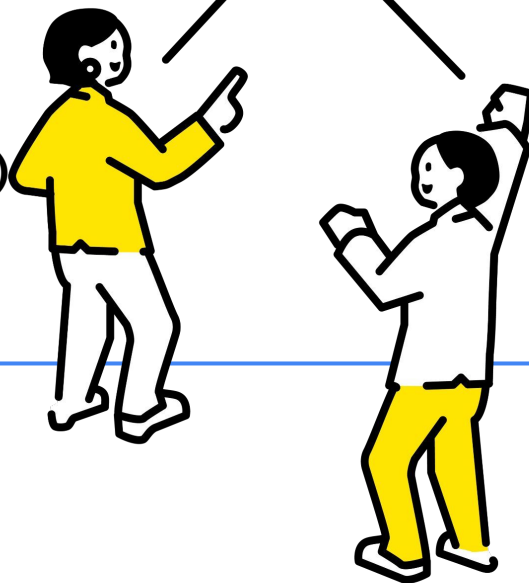
目標

課題

- ✓ヒト
- ✓モノ (技術・サービス)
- ✓お金
- ✓情報



現在地



壁を乗り越えよう！



## 課題

- ✓ヒト
- ✓モノ（技術・サービス）
- ✓お金
- ✓情報



## これがそろえば解決

- ✓ヒト
- ✓モノ（技術・サービス）
- ✓お金
- ✓情報

目標・現在地→課題を明確にすることは、  
あと何があれば目標を達成できるのか？  
を明確にすることと同じです。

パートナーと壁を乗り越えよう！



## 課題

- ✓ヒト
- ✓モノ（技術・サービス）
- ✓お金
- ✓情報



## パートナーの力

- ✓ヒト
- ✓モノ（技術・サービス）
- ✓お金
- ✓情報

自社・団体だけで解決するだけが手段ではありません。

パートナーと共に解決すること

も一つの手段です

## ワークシート②：ディスカッションメモ

個人ワーク：5分程度

ディスカッションタイム：15分程度

### Q4. どのような解決方法があるか

- ・ 自社・団体単独での解決方法
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  
- ・ パートナーとの連携による解決方法
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  
- ・ どういったパートナーが必要か

テーブル： \_\_\_\_\_ 企業名/団体名： \_\_\_\_\_ 氏名： \_\_\_\_\_

# ディスカッション： ワークシート①をシェアしながら課題の解決方法を検討しましょう



先ほどのワークシートも活用しましょう

## Q1. 誰のため、何のために取り組む

SDGs活動の目的を再確認しましょう

(例)

- ・ 自社：働き方改革、人材育成、社内浸透など
- ・ 社会：地域課題、環境問題、教育、事業開発など

(例)

- ・ 自社：有給休暇取得率を前年比+10%向上させる
- ・ 社会：SDGs課題起点の事業起案を年間2件実施する

## Q3. それに対して、現状はどうなっているか

「現在地」を客観的に捉え、理想とのギャップを書き出しましょう

実施したこと

検討・実施回数、作成物など

達成状況、達成できたこと

目標に対して〇〇%達成できた、〇〇を改善できた

課題・ギャップ

うまくいかない、壁にぶつかっている点

課題解決は自社・団体だけでなく  
パートナーとの解決  
も検討しましょう！

## ワークシート②：ディスカッションメモ



### Q4. どのような解決方法があるか

・ 自社・団体単独での解決方法

個人ワーク | 15:12まで

・ パートナーと連携による解決方法

グループディスカッション | 15:27まで

・ どういったパートナーが必要か

# ワークショップの進め方



01

全体の進め方の説明・グループごとの自己紹介

02

SDGs活動の振り返り

03

壁を乗り越えよう！ 他社事例&グループディスカッション

04

ワークショップ振り返り・アクションの整理ポイント

今日のワークショップを振り返りつつアクションを整理しましょう！



## POINT01

言語化できない・しにくい部分をまず特定しましょう

- ① 何のためのSDGs活動なのか
- ② 活動を実施するにあたっての課題は何か
- ③ どのように課題を解決するのか
- ④ どのように進めていくのか



今日のワークショップを振り返りつつアクションを整理しましょう！

## POINT02

# 『SMART』な評価基準でPDCAを回しましょう

### S

#### Specific

具体的か？目標は明確でわかりやすいか

### M

#### Measurable

計測可能か？数値で成果を評価できるか

### A

#### Achievable

達成可能か？現実的な努力で達成できるか

### R

#### Relevant

関連性があるか？成果と指標に関連性はあるか

### T

#### Time-Bound

期限はあるか？いつ達成するか明確か

重要課題	目標 (Goal)	評価基準 (例)	期限
エネルギー削減	地球環境負荷ゼロ工場	CO2排出量 前年比△10%	2030年
廃棄物削減	プラスチック容器ゼロ	廃棄物リサイクル率80%	2028年
安全な職場づくり	働きがいのある職場	離職率3%以下 / 有給取得率80%	2027年
地域社会貢献	継続的参加・活動拡大	地域課題解決プロジェクト年2件	毎年度

※ ベースラインを設定(特定時点or 特定期間平均)し、前年実績を基に翌年KPIを見直すPDCAが重要



## ワークシート③：振り返り

個人ワーク：3分程度  
シェアタイム：12分程度

### Q5. ワークショップ参加振り返り

- ・言語化ができない・しにくい部分
- ・今日の気づき・印象に残ったこと（講義内容やディスカッション内容など）
- ・自社・団体の今後のSDGs活動で活かそうなこと
- ・今回の気づきを組織内の誰に話したいか・どのように活かしていけそうか
- ・今後ともにSDGs活動に取り組んでみたい企業・団体・業界

**明日から実施していくことに  
迷わないように振り返りましょう！**

テーブル： \_\_\_\_\_ 企業名/団体名： \_\_\_\_\_ 氏名： \_\_\_\_\_



## Q5. ワークショップ参加振り返り

・ 言語化ができない・しにくい部分

・ 今日の気づき・印象に残った内容（講義内容やディスカッション内容など）

・ 自社・団体の今後のSDGs活動に活かそうなこと

・ 今回の気づきを組織内の誰に話したいか・どのように活かしていけそうか

・ 今後ともにSDGs活動に取り組んでみたい企業・団体・業界

**個人ワーク | 15:33まで**

**グループディスカッション | 15:45まで**



**みなさまワークショップ  
お疲れさまでした！**



SDGs活動を推進するために必要な2つの土台

「何のために取り組むのか」と「どう成果を描くか」の2軸が揃ってはじめて、  
組織の行動が揃い、価値ある推進が生まれます

01 | 方針の策定と発信  
(Why/Who)

- 優先順位と方針を明確にすることで、現場の迷いをなくす
- 社内外に「SDGsをなぜやるのか」の納得感が生まれる
- 方針がないと、施策が断片化し「やって終わり」になる

共通認識を生み  
組織と社会をつなぐ“軸”をつくる

02 | 定性と定量のゴールを持つ  
(What/How)

- 定性ゴール：「なぜ・何のために取り組むのか」
- 定量ゴール：「どれくらい・いつまでに成果を出すのか」
- 2つが揃うと、行動がぶれず、社内外の信頼も生まれる

意味”と“目標”がセットで揃え  
行動と評価を噛み合わせる

## ご参考

“やっているように見せる”SDGsは信頼されない — SDGsウォッシュを防ぐために

SDGsへの関心が高まるほど、“とりあえず言うだけ”の活動が誤解や不信を招く。  
だからこそ、誠実さと整合性のある取り組みこそが、信頼を得る唯一の道になる。

### SDGsウォッシュは なぜ起きるのか？

- 表明が先行し、実行が追いついていない（例：方針だけ/スローガンだけ）
- 本業との接点が曖昧なまま、ロゴや施策だけを並べてしまう
- 社内に共通認識がなく、現場と経営の間に断絶がある

“やっているように見せる”構造が  
できてしまう理由

### ウォッシュが もたらすリスク

- 顧客や取引先からの信頼失墜
- 投資・採用・メディアなどにおける批判の高まり
- 他社の本気の取り組みを相対的に価値毀損してしまう

「誰にも得がない」  
「SDGs自体の信用を下げる」構造

## ご参考

“やっているように見せる”SDGsは信頼されない — SDGsウォッシュを防ぐために

「SDGsを語ること」＝「取り組む責任が発生する」こと。  
信頼されるためには、“整合性を持って語れる構造”が不可欠です。

### 必要な観点

方針と優先順位が明確か？



社内外に伝わる言葉になっているか？



成果の“粒度”と“意味”が整理されているか？



ステークホルダーの声を踏まえているか？



実行に移せる設計になっているか？



### 説明ポイント

なぜ取り組むのか/  
誰のためかが説明できるか？

スローガンではなく、  
行動と接続しているか？

成果＝出したい価値が一貫しているか？

外からの期待・  
視点を受け止めているか？

誰が、どのように、  
いつ動くのかが描かれているか？

## ご参考

# 自社の“本業”とSDGsをつなぐ、意味のある接点を見つける

SDGsは“始める”ものではなく、“見直して言語化する”もの

SDGs活動の本質は、企業や団体がすでに果たしている価値や目指す方向性を“再定義”し、組織内外に共有可能な形に整えることにあります。

まずは、“すでにやっていること”の意味を捉え直すことから始めましょう。

### 接点のポイント

“社会的な意味”を  
捉え直す

関係者からの要請に  
応える視点で整理する

中長期的な“事業方向”に  
SDGsを重ねてみる

### 見直しポイント

業務プロセスや商品・サービスの  
なかに社会的意義は含まれていな  
いか？

サプライヤーや取引先、地域から  
の期待にどう応えている？

自社が進みたい方向に、どの目標  
や社会課題が関係しうるか？

### 問いかけの例

誰にとって、どんな困りごとを  
解決できているか？

「ESG調達」「多様な人材受け入  
れ」など関係者から、どんな期待  
や視線を感じているか？

「脱炭素」「地域密着」「資源循  
環」など自社の方向性として、どん  
な可能性が考えられるか？

ご参考

本業とSDGs活動の接続ポイントをつくる

戦略検討の第一歩：「取り組む課題」と「得たい成果」をどのくらいの大きさを描くか？

事業としての見通しを持つには、  
「社会課題」と「成果」のサイズ感が鍵になります

社会・業界課題を  
適切に大きく描く

生み出す成果を  
適切に大きく描く

## ご参考

# 本業とSDGs活動の接続ポイントをつくる

抽象すぎても実行できず、具体すぎても広がらない—事業課題を考えるうえでの“ちょうどよさ”とは？

「政策的に重要なテーマ」「大きな社会課題・事業課題」だけでは、実証実験・社内実装への道筋が見えにくく、現場が想像できない／実装条件が不明確だと、動きづらいのが本音です

<社会課題の例：子育て>

課題粒度  
**大**

子育て支援

子育て支援は幅広い範囲に影響を及ぼすため、どこから手をつけるべきかを特定するのが難しい。このため、より具体的なサブ課題に分解して考えることが求められる。

課題粒度  
**中**

こどもの防犯・  
見守りのデジタル化

防犯や見守りのデジタル化は、具体的なソリューションの提案が可能であり、様々な技術やアプローチで解決を試みる余地がある。

課題粒度  
**小**

保育園の玄関  
セキュリティ

保育園のセキュリティシステムのような小粒度の課題は、具体的な機能やサービスがはっきりしており、委託・発注案件や企業個別の案件として収束してしまう。

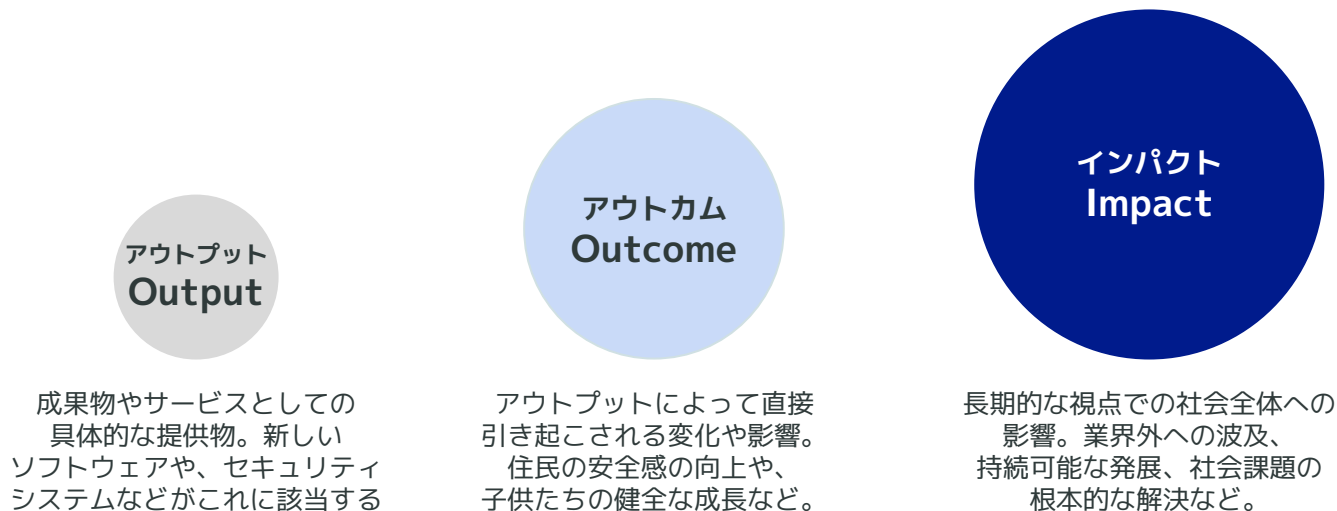
## ご参考

# 本業とSDGs活動の接続ポイントをつくる

「この施策がやりたい」から考えると視野が狭くなる—“何を变えたいのか”から逆算する思考を持とう

単発イベントや製品開発の話にしない。

“それによって何が变わるのか”を意識することで、成果の波及範囲が大きくなります



課題解決の影響度

## ご参考

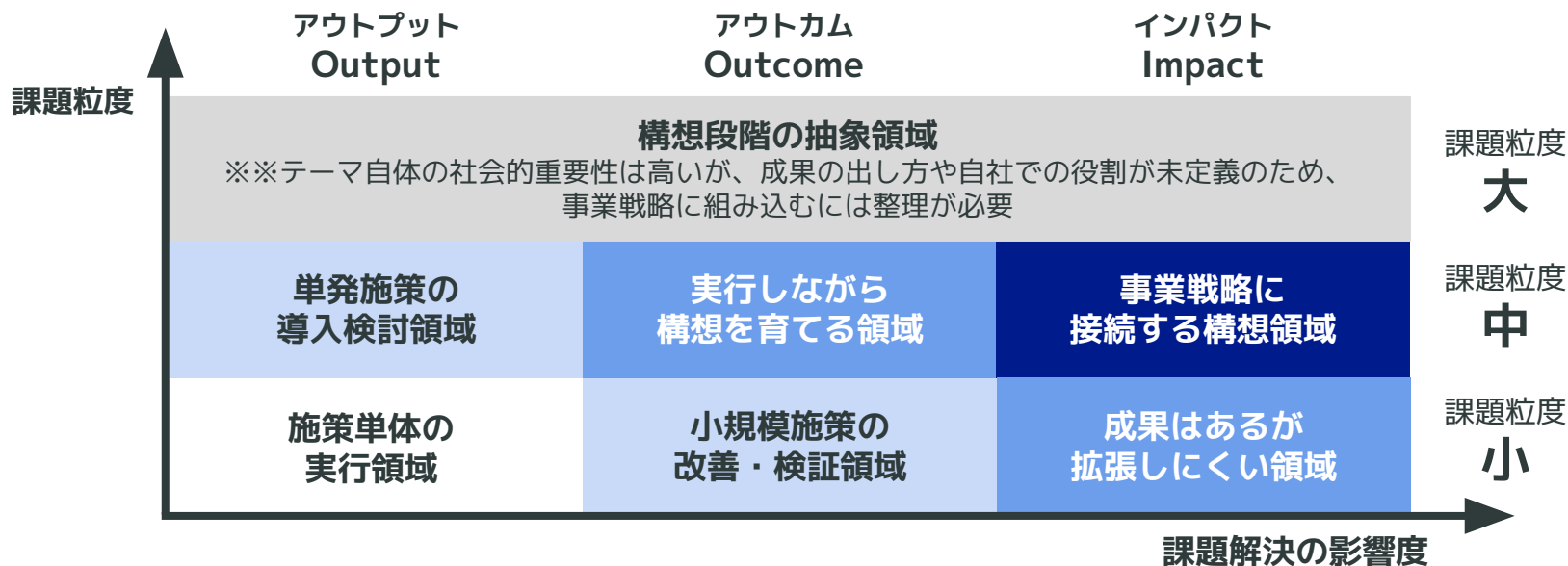
# 本業とSDGs活動の接続ポイントをつくる

委託や施策ベースではなく自社・団体の“将来像”から逆算して考える——成果設定の粒度を整える視点

この図は、“取り組みたいテーマが、事業としてどの段階にあるか”を見極めるためのマップです。

左下ほど現場実行に近く、右上ほど戦略や将来像の構想に接続します。

中段～右上に進めていくには、“成果の出し方”や“波及の仕組み”の整理が必要になる点が重要です。





# みなさまワークショップ お疲れさまでした！

## 15分間休憩 ～16時まで

### 【お手洗いと自販機】

- お手洗いは会場出てすぐ右手に男性トイレ、通路奥に女性トイレがあります。
- 自動販売機は会場出て通路奥（女性トイレ前）にあります。

## 本日のスケジュール



1. オープニング | 神奈川県からのご挨拶
2. SDGs ワークショップ
3. 各種今後のご案内
4. 名刺交換会・個別相談（事前申し込みの方が対象）

# 本事業でのご支援内容について

## 今年度のプログラム概要<事業目的>

### 事業目的

本事業では、かながわSDGsパートナー登録企業による、SDGsに資する取組のより一層の展開を支援するとともに、パートナー間の交流を促進し、継続的な連携を生み出すことで、パートナー制度の価値向上と、県内SDGsのさらなる拡大を図る。

### 注力ポイント

自社の課題解決に留まらない、社外（クライアント、業界など）への波及・展開までを見据えた活動を、県内企業が自発的に取り組むことを最終的なゴールに見据え、支援を実施。今年度事業については『ロールモデルとなる事業創出』と『県内企業に向けたSDGsの取り組みに関する機運醸成』を目指すことでパートナー制度の価値向上に繋げていく。

## 今年度のプログラム概要<支援内容>

SDG s 活動を進めるために  
『かながわSDG s パートナーミーティング』を通じた  
パートナー間の連携をサポートします。

パートナー企業に求める  
テーマの設計支援



SDG s における自社の取り組む目的・ゴールの整理から、挑戦したい事業テーマ（事業開発や課題解決等）を共に整理・可視化。

パートナー企業の  
マッチング支援



挑戦したい事業テーマに対して、  
必要な技術・ノウハウなどを持った企業と  
マッチングを実施。

マッチング後の  
伴走・フォロー支援



2社の連携が持続的に進むように  
連携モデルのブラッシュアップを  
通じた伴走・フォロー支援を実施。

# 今年度のプログラム概要<実施内容>

## パートナーミーティング（計9回）

- ★参加対象：すべての神奈川県内企業
- ※一部プログラムはパートナー企業のみ参加可能

SDGsの実現に向けて必要な知識や手順が学べるセミナーに加え、パートナー企業によるリバースピーチ、ネットワーキングなどを開催することで、かながわSDGsパートナー企業間のマッチングを促進

## 事業創出プログラム

- ★参加対象：共創を通じて、SDGsに関連する新たな事業創出を目指す神奈川県内企業

自社のみの課題解決にとどまらず、業界全体の課題解決を視野に入れた解決ソリューションを生み出すことを目指し、共創パートナー探索～共創による新規事業開発に取り組む

## 連携プログラム

- ★参加対象：共創を通じて、SDGsに関連する自社の課題解決を目指す神奈川県内企業

自社のSDGsの喫緊の課題解決をパートナー企業と取り組むことを目指し、取り組むべき課題やテーマの言語化・ヒアリングを行い、適切なパートナー企業とのマッチングに取り組む

# 今年度のプログラム概要<実施内容>

## パートナーミーティング（計9回）

- ★参加対象：すべての神奈川県内企業
- ※一部プログラムはパートナー企業のみ参加可能

SDGsの実現に向けて必要な知識や手順が学べるセミナーに加え、パートナー企業によるリバースピーチ、ネットワーキングなどを開催することで、かながわSDGsパートナー企業間のマッチングを促進

## 事業創出プログラム

- ★参加対象：共創を通じて、SDGsに関連する新たな事業創出を目指す神奈川県内企業

自社のみの課題解決にとどまらず、業界全体の課題解決を視野に入れた解決ソリューションを生み出すことを目指し、共創パートナー探索～共創による新規事業開発に取り組む

## 連携プログラム

- ★参加対象：共創を通じて、SDGsに関連する自社の課題解決を目指す神奈川県内企業

自社のSDGsの喫緊の課題解決をパートナー企業と取り組むことを目指し、取り組むべき課題やテーマの言語化・ヒアリングを行い、適切なパートナー企業とのマッチングに取り組む

# 今年度のプログラム概要<事業創出プログラムについて>

## 支援ステップ



## 事業創出プログラムの目標

『先進的な成功事例の創出』を目指し、自社のみの課題解決にとどまらず、業界全体の課題解決を視野に入れた解決ソリューションを生み出すことを目指し、共創パートナー探索から共創による新規事業開発に取り組む。

# 今年度のプログラム概要<事業創出プログラムについて>

## 支援ステップ

① 県内企業の  
募集・選出

② テーマ設計  
支援

③ マッチング  
支援

④ 伴走支援

パートナー企業とマッチングする前に『自社がどういうことを目指したいか』『どういう課題があるか』を整理・言語化しておくことが質の高いマッチングに繋がり、持続的な企業間連携に繋がります。  
適切な言語化を行った上で、マッチング支援に進みます。



eicon

参画する県内企業

### テーマ設計支援

#### 要素①

目的の明確化：  
なぜSDGsに取り組むか

#### 要素②

参入領域の明確化：  
どのような領域に参入したいのか

#### 要素③

ターゲットの明確化：  
どんな企業と連携したいのか

#### 要素④

リソースの明確化：  
活用できる自社のアセット・強み

#### 要素⑤

アイデア例：  
パートナー企業と何を生み出した  
いか

### 募集ページ制作



# 今年度のプログラム概要<事業創出プログラムについて>

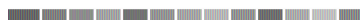
## 支援ステップ



テーマ設計支援を通じて考えた挑戦したい事業テーマに対して、求めるパートナー企業をSDGsパートナー登録企業やAUBAを活用して募集を行います。各企業、最適なパートナー企業とマッチングした上で今後プロジェクトを進めるパートナー企業を採択します。



KANAGAWA SDGs PARTN  
神奈川県 | SDGs未来都市 未来企業を応援するプラットフォーム



日本最大級のOJプラットフォーム



# 今年度のプログラム概要<事業創出プログラムについて>

## 支援ステップ



共創による新規事業開発を目指すためにプロジェクトの状況やニーズに合わせて伴走支援を行います。

※右記支援参考イメージ



### 支援例

今後、プロジェクトが継続して進むために、「いつまでに何をしなければならないのか?」を整理した上で**マイルストーンを設計**。

両社の連携が持続的に進むように、連携の座組やビジネスモデルに対する**メンタリングを実施**。

プロジェクト状況に合わせて、各共創プロジェクトの認知拡大のための**広報支援**（プレスリリースやFacebook等のSNSでの発信）を実施。

# 今年度のプログラム概要<事業創出プログラムについて>

	ホスト企業	パートナー企業	取組テーマ	昨年度の成果
1	 株式会社フリーデン	 GrowBirth 合同会社グローバース	地場素材 × ブランド豚で挑む、 サステナブルな商品開発の挑戦 やまと豚の商品力・販路 × 規格外野菜の集荷・乾燥技術	地元産の規格外産野菜を使用した レトルトカレーの開発 を実施 商品の企画設計、試作品の検討、 ゆめが丘ソラトスでの 試食会 開催
2	 和光産業株式会社 WAKO SANGYO Co.,Ltd 和光産業株式会社	 CN&Arts 株式会社シーエヌアーツ	「光触媒を活用した新しい 清掃業務の実現」プロジェクト 環境負荷の低い高品質な清掃 × 光触媒によるコーティング	神奈川県内の高校や病院等の 施設において、清掃の一環として 光触媒のコーティングを実施。 清掃による 除菌効果を実証測定。
3	 舞岡フォーム株式会社	 Recycle Technologies 株式会社リサイクルテクノロジーーズ	学校を拠点としたリサイクル資源 回収～製品化プロジェクト 素材アップサイクルの技術 × リサイクルDXプラットフォーム	神奈川県内の学校等で 不要になっ た衣類を用いた姿勢強制クッションの アップサイクル製品の開発。

# 今年度のプログラム概要<支援内容>

## パートナーミーティング（計9回）

- ★参加対象：すべての神奈川県内企業
- ※一部プログラムはパートナー企業のみ参加可能

SDGsの実現に向けて必要な知識や手順が学べるセミナーに加え、パートナー企業によるリバースピーチ、ネットワーキングなどを開催することで、かながわSDGsパートナー企業間のマッチングを促進

## 事業創出プログラム

- ★参加対象：共創を通じて、SDGsに関連する新たな事業創出を目指す神奈川県内企業

自社のみの課題解決にとどまらず、業界全体の課題解決を視野に入れた解決ソリューションを生み出すことを目指し、共創パートナー探索～共創による新規事業開発に取り組む

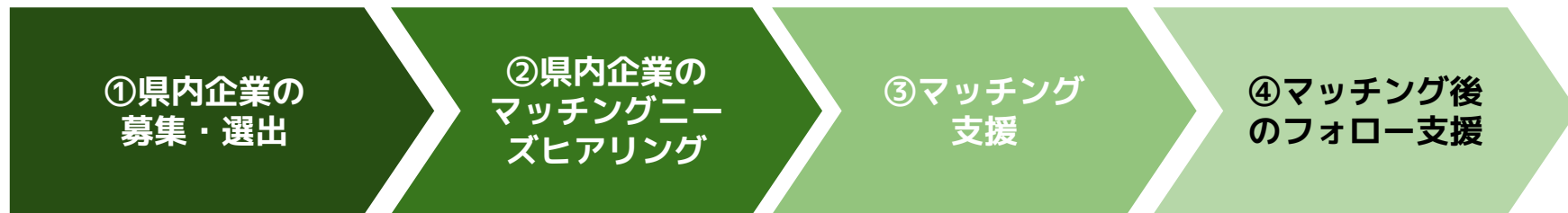
## 連携プログラム

- ★参加対象：共創を通じて、SDGsに関連する自社の課題解決を目指す神奈川県内企業

自社のSDGsの喫緊の課題解決をパートナー企業と取り組むことを目指し、取り組むべき課題やテーマの言語化・ヒアリングを行い、適切なパートナー企業とのマッチングに取り組む

# 今年度のプログラム概要<連携プログラムについて>

## 支援ステップ



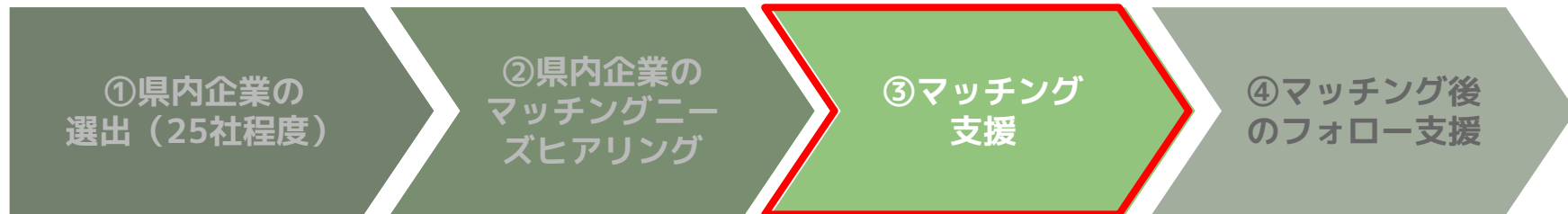
## 連携プログラムの目標

自社のSDGsの喫緊の課題解決をパートナー企業と取り組むことを目指し、  
取り組むべき課題やテーマの言語化・ヒアリングを行い、  
適切なパートナー企業とのマッチングに取り組む。



# 今年度のプログラム概要<連携プログラムについて>

## 支援ステップ



かながわSDGsパートナー企業の中から、専任担当コンサルタントによる支援や神奈川県とGoogle社で開発したAIマッチングツールの活用により、質の高いマッチングに繋がります。



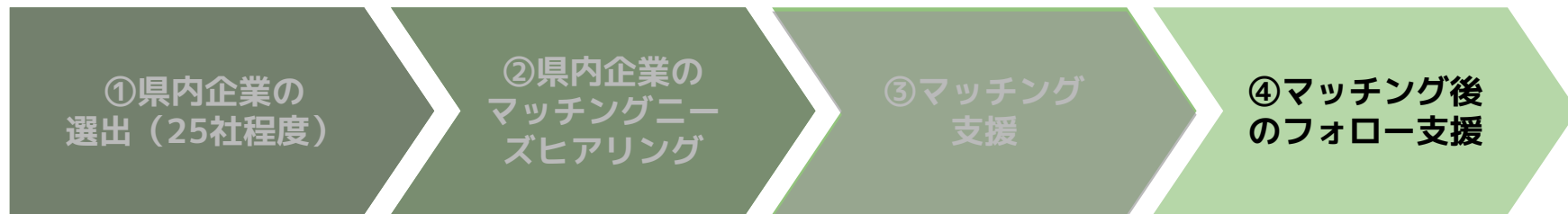
KANAGAWA SDGs PARTN  
神奈川県 | SDGs未来都市 県民一人ひとりの行動が未来につなぐ



AUBA

# 今年度のプログラム概要<連携プログラムについて>

## 支援ステップ



マッチング後の状況について定期的にヒアリングの上で、2社間での連携を進める中で課題があれば、必要に応じてメンタリングを実施します。2社の取り組みが円滑に進むようサポートをし、持続的な活動を促します。



eicon

参画する県内企業

## 今後のご案内(直近のスケジュール)

### スケジュール

※場合によってオンラインでの面談を実施させて頂くことがあります。

～5/31(日)  
各支援プログラム  
エントリー期間

6/1(月)～6/9(火)  
オンライン面談

6/9(月)  
ご支援企業  
採択のご連絡

6月末日途  
取組みテーマの  
擦り合わせ

### 応募条件

①「**かながわSDGsパートナー会員企業**」であること。

※これから登録する方も応募可能です。会員登録に関しては神奈川県 [HP](#)をご参照ください。

②**本事業に熱量高く参画出来る企業**であること。

### 参加費

・無料

**どちらのプログラムに参画するか迷われている方は、是非お声がけください！**

# 【神奈川県】若者事業について

---

いのち・未来戦略本部室  
SDGs推進グループ

# かながわ SDGs ACTION!

## 企業の課題解決にチャレンジしよう～

### 目的

○企業・団体の取組や課題を知り、実際に課題解決に向けてワークショップを実施することで **社会課題解決の手法を学ぶことができる**。

○自団体の活動のヒントを得るとともに、**企業・団体とのつながりを持つことができる**。

○自社の課題に対して、**若い世代のアイデアを聞くことができる**。

○学生との出会い・交流を通じて、**学生の意見を聞く・考えを知る機会となる**。

### 内容

#### Day1:オンライン(ZOOM)

1. 企業・若者団体の取組紹介
2. 企業課題の紹介

#### Day2: 関東学院大学横浜・関内キャンパス(対面)

1. 課題解決ワークショップ
2. 交流会



神奈川県  
かながわ SDGs ACTION!  
～企業の課題解決にチャレンジしよう～

**日時** 令和8年3月11日(水) 15:00～16:00 (オンラインでの事前説明)  
令和8年3月19日(木) 14:00～17:00 (対面)

**場所** 関東学院大学横浜・関内キャンパスラーニングcommons  
(横浜市中区万代町1-1-1 7階)

**内容** アイスブレイク | ワークショップ | 交流会

**参加対象** 大学生を中心とした10代後半から20代の方(高校生可)

**こんな人におすすめ** #SDGsや社会課題に興味がある  
#企業の課題解決にチャレンジしたい  
#企業や若者団体とつながりたい

主催：神奈川県

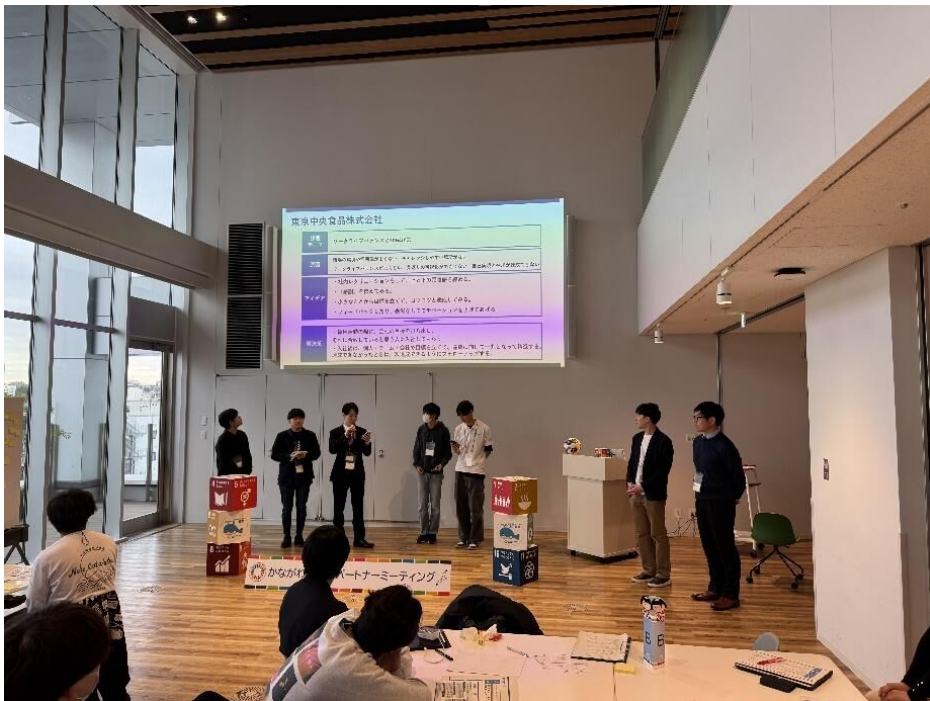
## 参加パートナー

企業名	分野	テーマ課題
株式会社アレックスプランニング	福祉	障がい者と企業・社会をアートでつなぎ経済的・社会的自立につなげたい
株式会社ツクイ	介護	「介護は他人事？」大学生の視点で考える “自分ごと化”するための仕組みづくり
東京中央食品株式会社	食品	ワークライフバランスと SDGs経営
株式会社富士防	建設業	建設業の持続可能性の実現
株式会社ホンダカーズ神奈川西	販売業	就職活動をキャリア教育にするには

# 参加学生

学生団体名
NPO法人 宮ノマエストロ みやまえ塾
NPO法人 HpRun
ボランティアサークル ウミソコ
ニューコロンプス
ピースカフェ
NPO法人 まち×学生プロジェクト plus
一般参加者
神奈川県庁体験プログラム (インターンシップ参加学生)

# (参考)実施風景



# 令和8年度開催概要(案)

名称	かながわ SDGs ACTION!～企業・団体の課題解決にチャレンジしよう～
参加者	若者: 県内若者団体を中心とする高校生・大学生 企業・団体: かながわ SDGsパートナー
事業目的	○課題の解決に向けた取組を通じ、 <b>パートナーの社会課題解決を促進</b> させるとともに若者自らが解決に取り組むことにより、課題解決に向けての <b>SDGsアクションを起こすことができる人材の育成</b> をめざす
学生向け目的	○SDGsパートナーの取組や課題を知り、課題解決ワークショップに参加することで、 <b>SDGsアクションを行うきっかけ</b> となる ○自分が出した <b>アイデアが実現</b> することで、 <b>社会課題の解決に貢献</b> することができる
企業・団体向け目的	○若者ならではの視点を取り入れることで、 <b>既存の枠組みにとらわれない課題の解決手法を得る</b> ○若者と社会課題解決に取り組むことにより、 <b>SDGsへの貢献や企業価値の向上につながる</b>
内容	企業・団体担当者と若者がチームとなってアイデアを創出するワークショップを複数回実施 (詳細スケジュールは次ページ)

# 実施スケジュール(案)

9月	キックオフミーティング	全体
10月	グループ活動①	各グループ (企業見学会)
11月	グループ活動②	各グループ
12月	中間報告会	全体
1月	グループ活動③	各グループ
2月	グループ活動④	各グループ
3月	24日:最終報告会@ GREEN×EXPO	全体

# 参加企業・団体の募集について

## 募集期間(予定)

6月8日(月)～7月5日(日)

## 募集内容(抜粋)

- ①テーマ課題(解決することで社会課題の解決につながる自団体の課題)
- ②その課題を解決することによってどんな社会課題の解決につながるか
- ③社会課題解決に向けた想い
- ④その他



# 「かながわ治療と仕事の両立推進企業」について



神奈川県 健康医療局 保健医療部

がん・疾病対策課 がん・循環器対策グループ

近藤 洋平

令和8年5月28日

# 病気を抱える労働者の治療と就業の両立支援が企業の努力義務に

全ての事業主の方へ

令和8年  
4月から

病気を抱える労働者の  
治療と就業の両立支援  
が努力義務になります！

改正労働施策総合推進法（令和7年法律第63号）により、令和8年4月1日から、職場における治療と就業の両立支援の取組が、事業主の努力義務になります。

治療と就業の両立支援指針（令和8年厚生労働省告示第28号）を踏まえ、社内の環境整備や必要な両立支援の措置を講ずることが求められます。



## 病気を抱える労働者の状況



がん等の病気を抱える労働者の中には、職場の理解や支援体制が十分でなく、就業をあきらめてしまうケースが少なくありません。

今後、高齢者の就労の増加等を背景に、どの職場でも、病気を治療しながら仕事をする労働者は増えていきます。

## 治療と就業の両立支援とは



大切な人材が病気になるっても、治療を受けながら安心して働き続けられるよう支援するため、本人からの相談に応じ、適切に対応できる体制・環境を整備し、必要な就業上の調整や配慮を行う取組です。

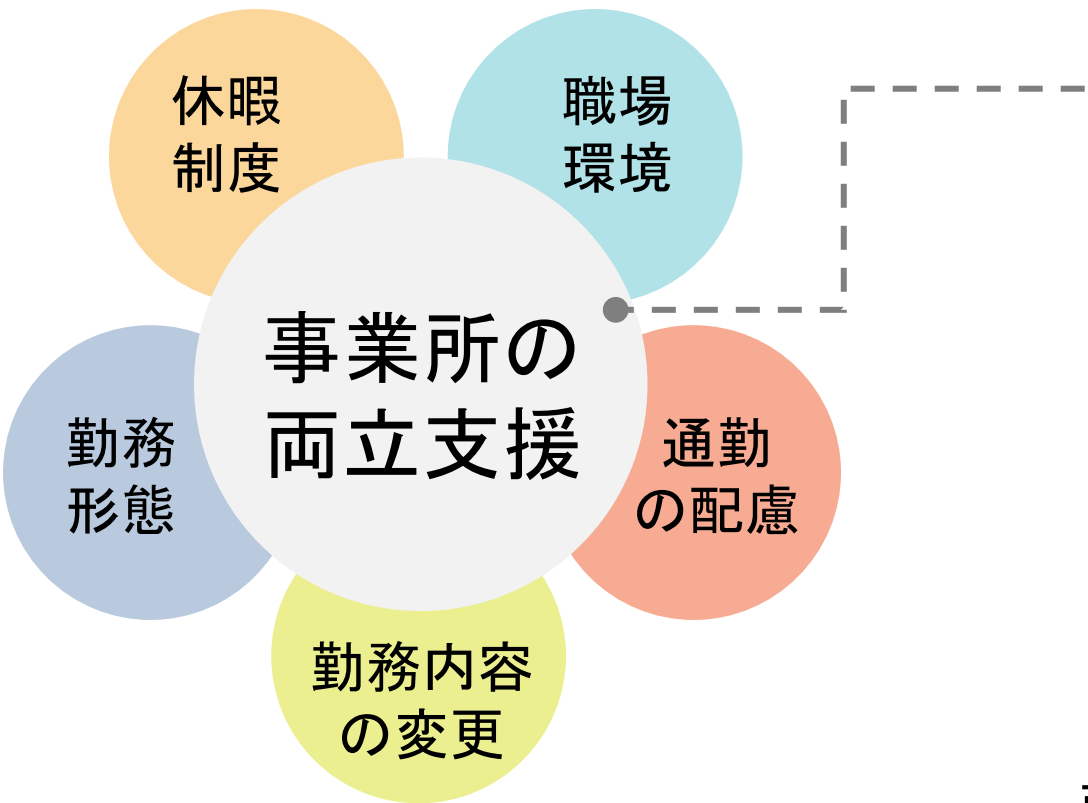
## 両立支援に取り組む意義



労働者の健康確保及び就業継続とともに、社員全体の安心感やモチベーションの向上による人材の定着、生産性の向上といった企業の成長につながります。

事業主向け  
厚生労働省周知リーフレット

# かながわ治療と仕事の両立推進企業認定事業



両立推進企業シンボルマーク

# 認定企業のクラス分類



プラチナ企業



ゴールド企業



スタンダード企業

令和8年4月1日時点: 266社

# 認定基準

(1)時間単位又は半日単位の年次有給休暇制度を整備していること。

(2)傷病・病気休暇制度を整備していること。

(3)短時間勤務制度、時差出勤制度、失効年次有給休暇積立制度、在宅勤務制度、フレックスタイム制度のいずれか一つ以上の制度を整備していること。

3つ満たしている場合・・・プラチナ企業

2つ満たしている場合・・・ゴールド企業

1つ満たしている場合・・・スタンダード企業

# 申請方法

申請書→

申請は**申請書**と**就業規則の写し**

を当課に郵送又は電子申請するだけ！

まだ、認定を受けていない企業様は、ぜひ申請をご検討ください！（申請費用はかかりません）

神奈川県 両立推進企業



Webでは、電子申請で簡単にお手続きいただけます！

Kanagawa Prefectural Government

第1号様式（第5条関係）

かながわ治療と仕事の両立推進企業認定申請書

年 月 日

神奈川県知事 様

（申請者）

所在地

名称

代表者職・氏名

かながわ治療と仕事の両立推進企業認定事業実施要綱第5条の規定に基づき、次のとおり申請します。

1 県内にある本社、本店又は事業の拠点の名称、所在地及び従業員数

名称	所在地	従業員数
		（年 月 日時点）

2 認定基準の適合

かながわ治療と仕事の両立推進企業認定事業実施要綱第3条に規定された認定基準のうち満たしている基準（該当する基準に○をつけてください。）

- ① 時間単位又は半日単位の年次有給休暇制度を整備していること。
- ② 傷病・病欠休暇制度を整備していること。
- ③ 短時間勤務制度、時差出勤制度、失効年次有給休暇積立制度、在宅勤務制度、フレックスタイム制度のいずれか、一つ以上の制度を整備していること。

3 添付書類

就業規則その他これに準ずるものの写し

（担当者連絡先）

部 署 名：

氏 名：

電話番号：

電子メールアドレス：

ご清聴ありがとうございました。



# GREEN×EXPO 2027 県の取組状況について

---



# 一般社団法人 神奈川県中小企業診断協会 SDGsプロジェクト ご案内

一般社団法人 神奈川県中小企業診断協会 SDGsプロジェクト

## SDGsを 経営の武器にする

2026年 6月12日(金)  
14:00~17:00

会場 神奈川中小企業センタービル  
14階 多目的ホール  
(JR関内駅・馬車道駅 各徒歩約5分)

参加費 無料 (先着50名)



### 第1部 脱炭素・人材・企業価値を 高める実践セミナー

SDGs経営（持続可能な開発目標を経営戦略に取り入れること）は、経営の「武器」ともなる取り組みです。

<テーマ>

- ・SDGsに取り組んでいるけどうまくいかない
- ・脱炭素はコスト削減と競争力強化のチャンス
- ・人が集まる・辞めない会社づくり

### 第2部 個別相談会

相談内容ごとにブースを分け、お悩みのご相談を個別にお伺いいたします。

※セミナーとあわせてお申込みください

## お申し込み方法

下記URL、2次元コードからお申込みください。

<https://forms.gle/2Tnwk1U4ybzP68aw8>



主催：一般社団法人 神奈川県中小企業診断協会 SDGsプロジェクト (ksdgs@sindan-k.com)  
協力：神奈川県政策局 いのち・未来戦略本部室 SDGs推進グループ

## 第1部：セミナー

14:00 開会：神奈川県のSDGsに対する取組について

講師：神奈川県 政策局 いのち・未来戦略本部室SDGs推進グループ

14:30 SDGsに取り組んでいるけどうまくいかない…

～このもやもや どうやって解決？～

講師：角田 有史 (中小企業診断士)



15:10 脱炭素はコスト削減と競争力強化のチャンスです

～経営者が「やるか・やらないか」を判断できる実践的視点～

講師：加藤 則仁 (中小企業診断士) / 小柳 一郎 (同左)



15:50 人が集まる・辞めない会社づくり

～中小企業のためのやさしいSDGs活用～

講師：藤田 進一 (中小企業診断士) / 宮川 典之 (同左)



## 第2部：個別相談会

SDGs全般

かながわSDGs  
パートナー登録など

脱炭素・省エネ

脱炭素経営の実践

人材採用・育成

SDGsで人を活かす

## 一般社団法人 神奈川県中小企業診断協会 SDGsプロジェクト

本プロジェクトは、2022年6月に発足しました。神奈川県下の中小企業の持続可能な発展を支援し、地域の経済・社会・環境に貢献することを使命としています。

主な活動は、企業のレベルに応じたセミナーの企画・開催、先進企業へのインタビューを通じた実態調査・事例研究、専門家チームが約3ヶ月伴走する個社支援の3本柱です。

<過去の活動実績>

- ・セミナーの開催・登壇  
「テックカルチャーヨコハマ2026」にて、脱炭素をテーマとしたSDGsセミナーを開催（2026年2月）等
- ・調査報告書・事例集の作成  
かながわSDGsパートナーへのSDGs意識アンケート調査、県下中小企業のSDGsへの先進的取組事例集の作成。
- ・表彰  
「かながわみんなのSDGs」において、「神奈川県中小企業診断協会賞」の授与

## 今後のご案内(第3回パートナーミーティング)

## EVENT

開催日時：2025年7月23日（木） 午後

- **開催場所**：神奈川大学 みなとみらいキャンパス
- **開催内容**：SDGs活動に関する講義・トークセッション  
SDGs実践企業・団体によるピッチ、マッチング促進ピッチ  
参加企業・団体同士での交流会

※内容は変更になる可能性があります

皆さまのご参加お待ちしております！

# みなさま、お疲れさまでした！

2026.05.28

## 第2回かながわSDGs パートナーミーティング

～本年度のSDGsアクションを考えるワークショップ～



主催：神奈川県政策局

いのち・未来戦略本部室 SDGs推進グループ

運営：株式会社eiicon

スクリーン（会場前方）

事前申し込み不要!!

中小企業診  
断協会

Google  
生成AI体験

個別相談  
①

個別相談  
②

個別相談  
③

入口

参加者同士の交流もぜひ!! (17:30まで)

# ワークシート①：自身の活動を言語化しましょう



Q1. 誰のため、何のために取り組むのか

Q2. 昨年度、実際どんな取り組みを行ったか？

Q3. 昨年度の取り組みはどのような結果になったか？

「現在地」を客観的に捉え、理想とのギャップを書き出しましょう

実施したこと

達成状況、達成できたこと

課題・ギャップ

テーブル： \_\_\_\_\_ 企業名/団体： \_\_\_\_\_ 氏名： \_\_\_\_\_

## ワークシート②：ディスカッションメモ



### Q4. どのような解決方法があるか

- ・ 自社・団体単独での解決方法
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  
- ・ パートナーとの連携による解決方法
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  
- ・ どういったパートナーが必要か

テーブル： \_\_\_\_\_ 企業名/団体： \_\_\_\_\_ 氏名： \_\_\_\_\_

## ワークシート③：振り返り



### Q5. ワークショップ参加振り返り

- ・言語化ができない・しにくい部分
- ・今日の気づき・印象に残ったこと（講義内容やディスカッション内容など）
- ・自社・団体の今後のSDGs活動で活かそうなこと
- ・今回の気づきを組織内の誰に話したいか・どのように活かしていけそうか
- ・今後ともにSDGs活動に取り組んでみたい企業・団体・業界

テーブル： \_\_\_\_\_ 企業名/団体： \_\_\_\_\_ 氏名： \_\_\_\_\_